

骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要となった者への接種費用を 助成する制度の創設を求める意見書

難病や移植、小児がんなど免疫抑制の治療により、これまで受けた予防接種ワクチンの効果がなくなり、もう一度予防接種をやりなおさなくてはならない者がいる。

定期接種のワクチンは医療機関や種類により異なるが、1本(1回)6,000円～10,000円程、1回～4回の接種回数が決められており、総合すると30回、実費で20万円前後を要する。市区町村によっては再接種の助成制度を設けているところがあるが、その数は全市区町村の僅か5%程度にとどまっている。

小児がんや骨髄移植などで免疫を無くした者は、すでに全員が闘病によって肉体的にも経済的にも大きな負担がかかっている。再接種に過度な負担がかかる現状では、助成制度が無いことで再接種を諦めてしまう者が出かねない。予防接種は、個人の感染予防・重症化の防止という目的とともに、多くの人々が接種を受けることにより、感染症の蔓延を防止する(集団免疫)という社会的な意義も持っている。接種が必要な者が居住地に関わらず、また、過度な負担なく確実に接種出来るようにすることが国の責務であると考えます。

よって、町田市議会は、国に対し、以下の事項を速やかに実施するよう要請する。

記

- 1 骨髄移植等により予防接種ワクチンの効果がなくなった者が、再接種する費用を助成する制度を創設すること
- 2 再接種によって副反応等の健康被害が発生した際に、定期接種による接種と同等の補償を受けることが出来るよう制度を整えること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。